

# ニセコ町地域公共交通活性化協議会

平成23年4月20日設置



## 概要

ニセコ町は、北海道南西部の後志地方のほぼ中央に位置する人口約5,000人、総面積197.13km<sup>2</sup>の町である。東に国立公園羊蹄山(1,898m)、北に国定公園ニセコアンヌプリ(1,309m)の山岳に囲まれており波状傾斜の多い丘陵盆地を形成しており、内陸的気候を呈し、冬期の最深積雪は200cmにも達することがある。本町は、ドアツードアで運行している町営デマンドバスや各事業者が運行する路線バス、冬期スキー客向けの冬季間限定バス等によって移動手段を確保しているが、人口減少や少子高齢化が進み、移動弱者が増加する本町において、町民の生活や地域の観光等を支える持続可能な交通体系を構築するため、利用者・交通事業者・行政等関係者の総意のもと、公共交通政策のマスタープランとなる「ニセコ町地域公共交通計画」を策定する。

## ○地域公共交通の現況

- ・JR函館本線(ニセコ駅)
- ・北海道中央バス(株)、ニセコバス(株)、道南バス(株)(全8路線)
- ・町営デマンドバス(にこっとBUS)・スクールバス(6路線)
- ・タクシー・ハイヤー会社(2社)

## ○地域公共交通の課題

- ・増加する交通弱者の移動手段となる公共交通の確保
  - ・年間を通じて需要に対応する安全で安定した移動手段の確保
  - ・公共交通の利便性向上
  - ・公共交通の持続性確保
  - ・幹線・広域交通と生活圏交通の接続性確保
- 等

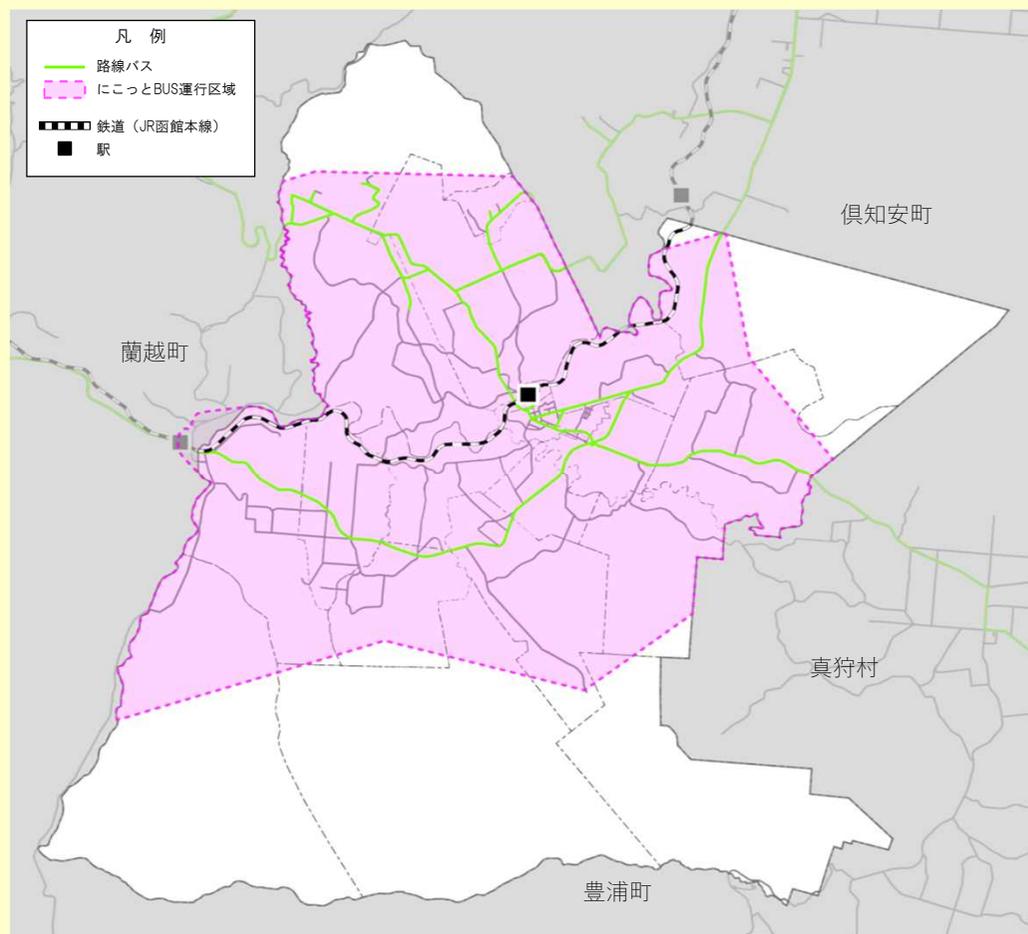
## ○調査の主な内容

- ・上位・関連計画の整理
- ・ニセコ町の現況の整理
- ・地域公共交通の現状の整理
- ・地域住民等のニーズの整理(住民アンケート調査・来訪者WEBモニタ調査等)

## ○地域公共交通活性化協議会開催状況

- 令和5年4月28日 第26回協議会を開催(地域公共交通活性化協議会規約の改正等)
- 令和5年6月21日 第27回協議会を開催(地域公共交通計画策定に向けた検討等)
- 令和5年9月22日 第28回協議会を開催(営業区域外旅客運送の必要性について等)
- 令和6年1月15日 第29回協議会を開催(地域公共交通計画(素案)策定について等)

## 公共交通の概要



# ニセコ町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

## ●事業の結果概要

### 【上位・関連計画の整理】

・国の法律や北海道・ニセコ町の上位・関連計画(総合計画・マスタープラン等)を整理し、本計画の位置付けを整理した。

### 【ニセコ町の現況】

・ニセコ町の現況として、地勢や人口推移・分布、主要施設の立地状況(役所・病院・金融機関・観光施設・教育施設など)、観光入込等を整理した。

### 【地域公共交通の現状】

・鉄道、路線バス・高速バス、町営デマンドバス(にこっとBUS)、スクールバス、タクシー・ハイヤー、その他の交通資源(福井助け合い交通)について、運行状況などを整理した。

## 計画の位置付け

国：交通政策基本法  
地域公共交通の活性化及び再生に関する法律  
第2次交通政策基本計画

道：北海道交通施策総合指針

第6次ニセコ町総合計画

第2期ニセコ町自治創生総合戦略  
ニセコ町観光振興ビジョン  
ニセコ町第8期高齢者保健福祉計画  
ニセコ町第3次障がい者基本計画  
・第6期障がい福祉計画  
第2次ニセコ町環境基本計画  
ニセコ町過疎地域持続的発展市町村計画

整合

後志地域公共交通計画  
(地域の公共交通政策のマスタープラン)

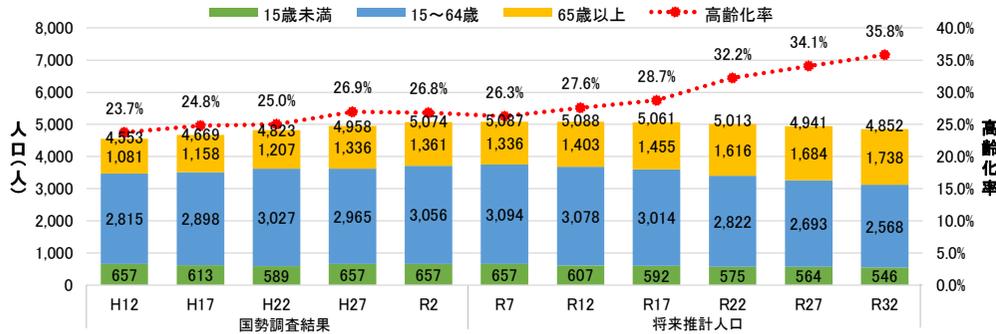
整合

ニセコ町地域公共交通計画

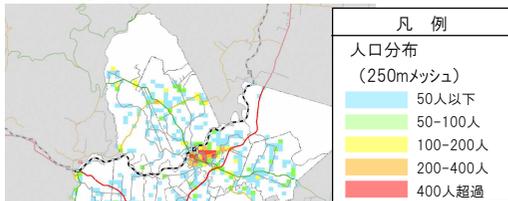
## 人口推移・分布

### ■世代別人口高齢化率の推移

人口はR12年にピークを迎え、それ以降は減少が進むと推計されている一方で、高齢者数は将来的に増加が続き、高齢化率も上昇することが推計されています。

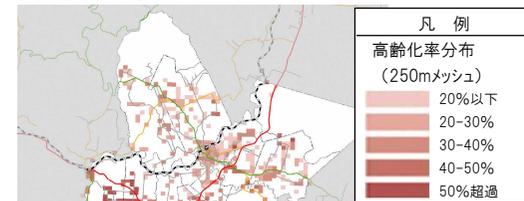


### ■人口分布



人口は町の中心部である本通・中央通・富士見等に集中し、それ以外は、国道や道道の沿線を中心に広く点在している。

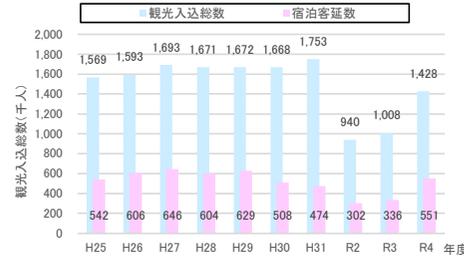
### ■高齢化率分布



高齢化率は人口の多い町の中心部で比較的低く、郊外部に高齢化率の高いエリアが分布している。

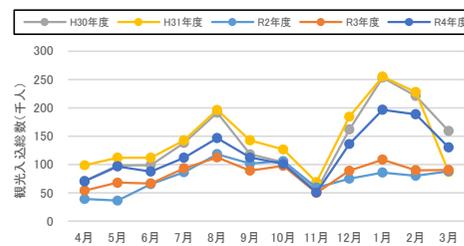
## 観光入込

### ■観光入込客数の推移



観光入込は増加傾向にあったが、R2年度に大きく減少し、徐々に回復している。

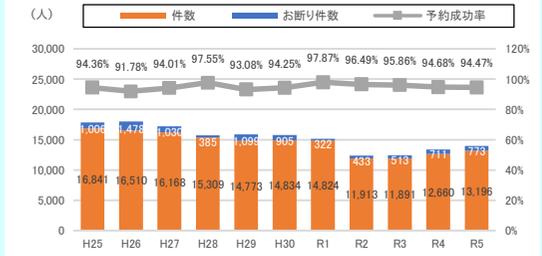
### ■月別観光入込客数



月別では、冬季の12~2月と夏季の8月が観光入込の多い期間である。

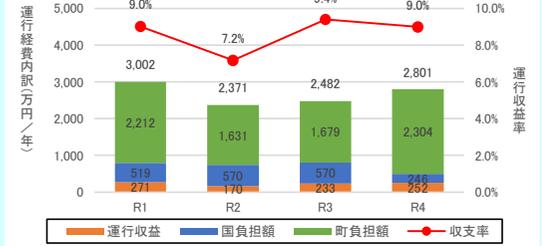
## 地域公共交通の現状(抜粋)

### ■にこっとBUSの予約件数の推移



予約件数は令和2補助年度に新型コロナウイルス感染拡大の影響で大きく減少したものの、令和5補助年度にはコロナ禍前(令和1補助年度)の約9割まで回復している。

### ■にこっとBUSの収支状況



収支率は9%前後で推移しており、国の補助や町の支援により運行している。

# ニセコ町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

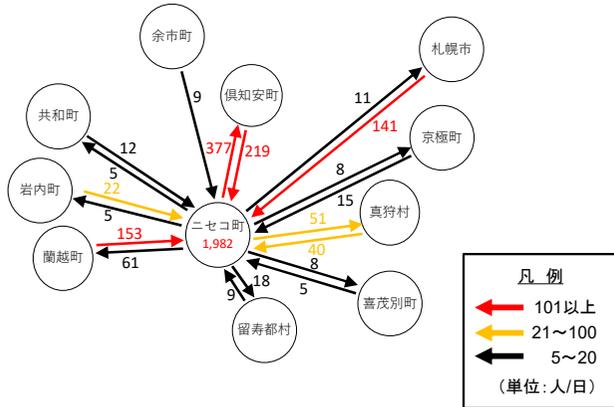
## ●事業の結果概要

### 【地域住民の移動実態・ニーズ】

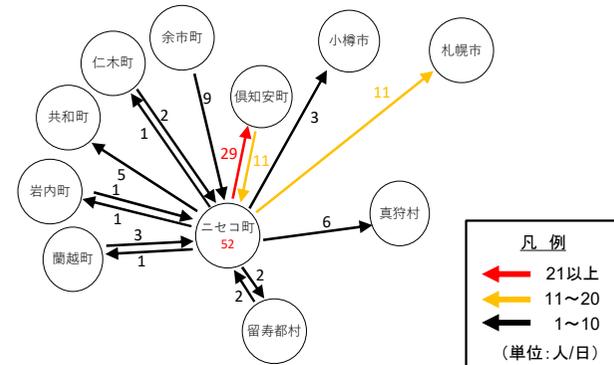
- ・統計データより、通勤・通学・通院の流動を整理した。
- ・各種調査(住民アンケート調査、来訪者WEBモニタ調査)を実施し、その結果を基に、移動実態や交通に関するニーズを整理した。

### 通勤・通学の流動

#### ■通勤流動



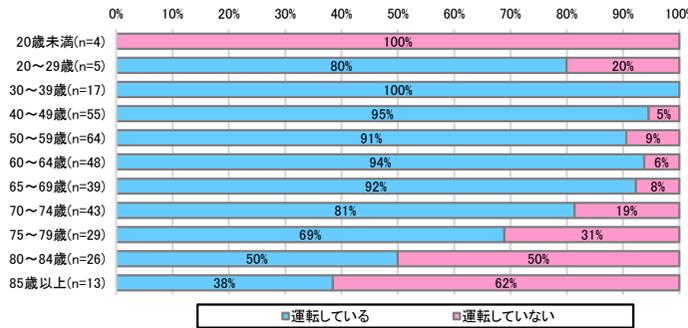
#### ■通学流動



通勤・通学ともに町内での流動が最も多いが、隣接町村(倶知安町、真狩村)や札幌市への広域な流動の需要もある。

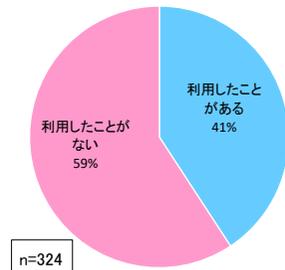
### 住民アンケート調査結果(抜粋)

#### ■日常的な車(原付・バイクを含む)の運転有無(年齢別)



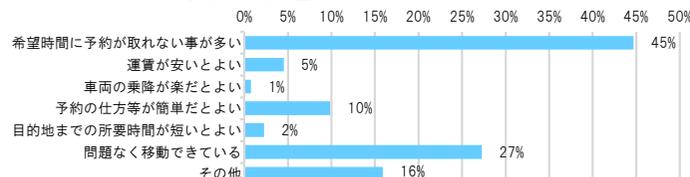
日常的に車を運転する方の割合は、20歳代~74歳までで約8~10割と高く、75歳以上も日常的に運転する方が一定数確認される等、自家用車が主な利用手段となっている。

#### ■にこっとBUSの利用有無



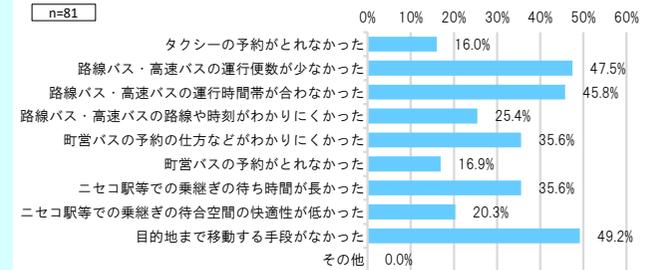
にこっとBUSを利用したことがある方は全体の約4割に留まる。にこっとBUSの利用上の課題は、「希望時間に予約が取れないことが多い」が約5割と最も多く、次いで「問題なく移動できている」が約3割、「予約の仕方等がよくわからない」が約1割となっている。

#### ■にこっとBUSの利用上の課題

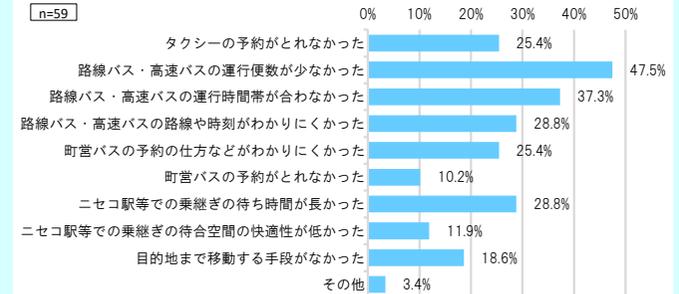


### 来訪者WEBモニタ調査結果(抜粋)

#### ■ニセコ町内の移動に対する意見(通常期来訪者)



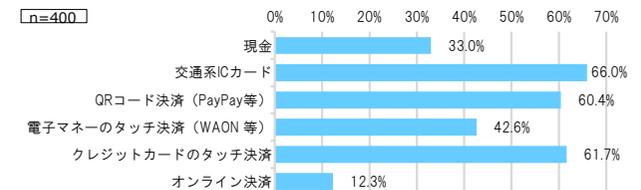
#### ■ニセコ町内の移動に対する意見(冬期来訪者)



通常期(4月~11月)は、目的地までの移動手段のなさや運行便数、運行時間帯についての意見が多い。

冬期(12月~3月)は、運行便数や運行時間帯、路線や時刻のわかりにくさ、乗継ぎの接続の悪さ等についての意見が多い。また、「タクシーの予約がとれなかった」という意見が通常期に比べて多い。

#### ■公共交通の支払い方法



公共交通の支払いで利用需要は、「交通系ICカード」が約7割と最も高く、次いで「クレジットカードのタッチ決済」、「QRコード決済」が約6割と、現金以外の支払いシステムへの需要が高い状況である。

# ニセコ町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

## ●地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針

### 町の交通課題など:

- ・観光客数は時期に応じた変動が大きく、特に冬期に集中する観光客(外国人を多く含む)の需要に対応した利便性の高い移動手段の確保が求められる。
- ・にこっとBUSにより、町の中心部以外に広く分布する人口を含む、町内全域の移動を支えているが、住民からは「希望時間に予約が取れないことが多い」という意見が多く上がっており、町民の移動手段の充実が求められる

### 協議会からの意見など:

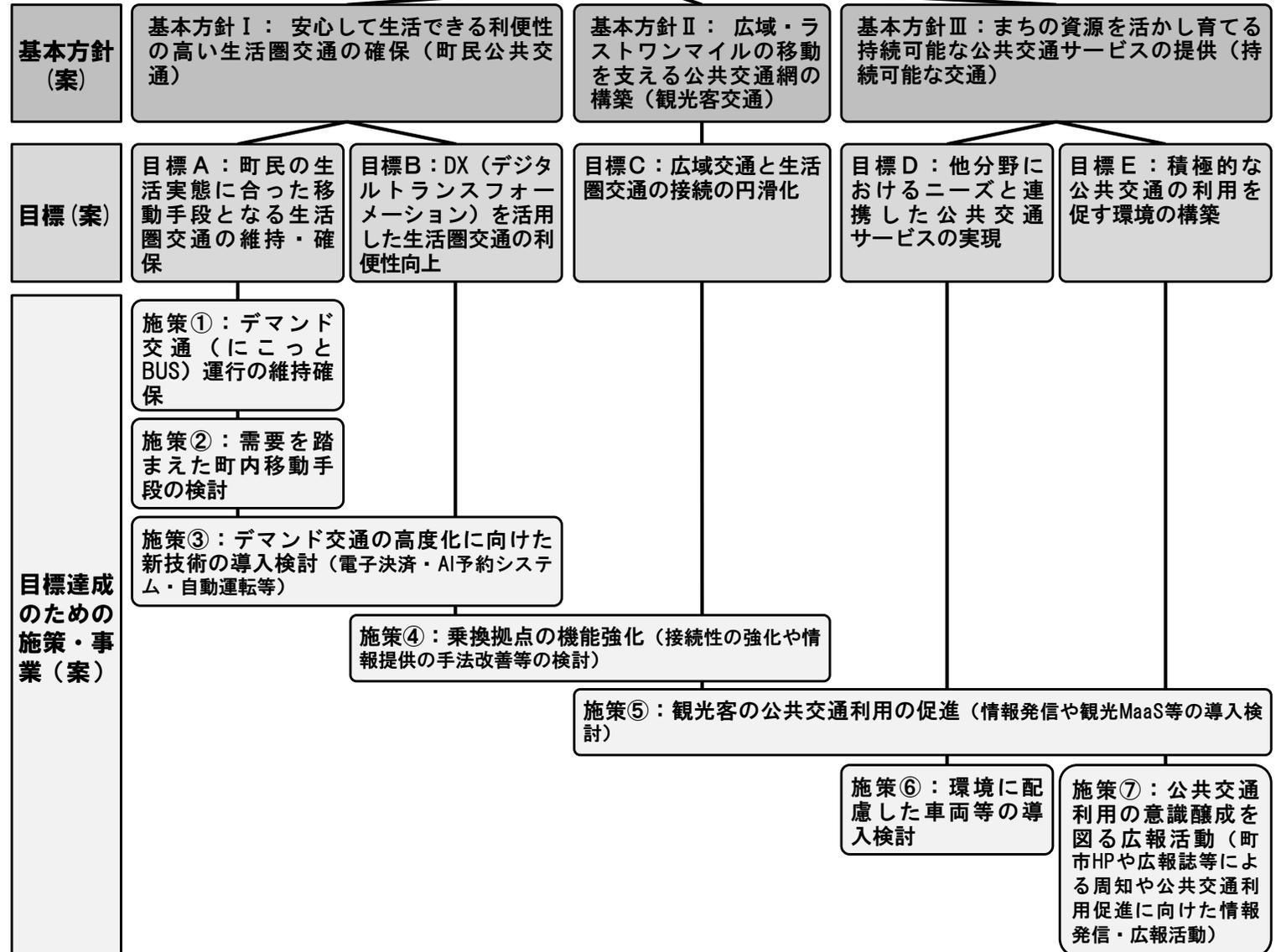
- ・拡大する観光客の交通問題を解消するために、今後DXやAIなど、システムの更新も含めて検討していく必要がある。
- ・観光客の増加により、町民のデマンドバスの予約が取りにくい状況が生じている。システム更新などを含めて、効率化などを進める必要がある。

### 目標達成のための施策など:

- ・観光MaaS(Mobility as a Service)等のシステムの導入を検討・実装していく
- ・公共交通の運賃払いにおけるキャッシュレス需要やタッチレス需要等を踏まえ、にこっとBUSにおける電子決済の導入に向けた事業を進める。
- ・デマンド交通の利便性向上や運行効率化への寄与が期待される、AI予約システムの導入に向けて準備を進める。

### 計画の基本的な理念・方針・目標及び目標達成のための施策・事業の内容(案)

#### 基本理念：誰一人取り残さないニセコウ通



# ニセコ町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

## ●地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針

- 「8.計画の評価指標・推進体制等」において、目標の達成度の評価方法(評価指標・目標値など)、評価結果を踏まえた見直しの実施方針を設定する。

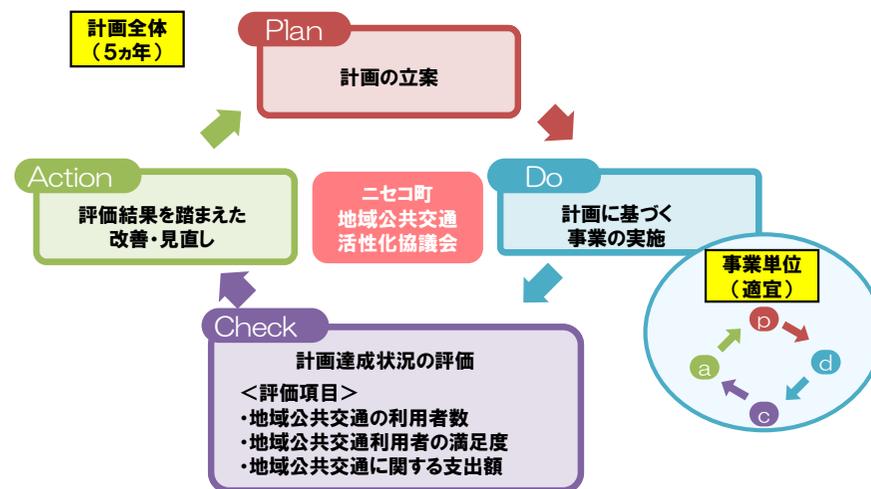
### 目標の達成度の評価指標と数値目標(案)

	数値指標	現状値 (令和5年)	目標値 (令和10年)	対応目標
評価指標①	にこっとBUSの利用者数	16,601人/年※1	16,601人/年以上	目標A・B・E
評価指標②	にこっとBUSの収支率	10.05%※1	10.05%以上	目標A・B・E
評価指標③	にこっとBUSの公的負担額	2,304万円/年※2	2,304万円/年以下	目標A・B・E
評価指標④	広域交通と生活圏交通の接続性	接続性あり	接続性の維持	目標C
評価指標⑤	他分野と連携した公共交通サービスの有無	サービスなし	サービスあり	目標D

※1 令和5補助年度(令和4年10月～令和5年9月)の実績、 ※2令和4補助年度(令和3年10月～令和4年9月)の実績

### 計画の達成状況の評価方法

本計画(Plan)の推進にあたり、毎年度、施策・事業を実施(Do)しながら、目標の達成状況(数値指標)を評価(Check)し、必要に応じて、施策・事業の見直し(Action)を検討します。



## ●事業実施の適切性

計画どおり運行し、事業は適切に実施されている。

## ●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

- ・事業は、計画どおり実施されている。
- ・引き続き事業の完了に向けて取り組んでいただきたい。
- ・今後、地域公共交通計画策定後についても、公共交通事業の収支率や公的資金投入額などの事業効率の改善等についてさらに検証していくことをご検討いただきたい。